



松伏町立松伏小学校学校だより

学校教育目標

- ・よく遊ぶ子
- ・よく学ぶ子
- ・助け合う子



平成28年3月1日 第11号
児童数998名 TEL048-991-2238

3月

健全な食生活が健康な心身を育む

校長 岡田 直人

このところ陽ざしは明るく春めいてきましたが、吹き抜ける風はまだ冷たく、校庭の桜もじっと耐えながら春の訪れを待っているようです。最近、校舎を回っていると教室から子ども達の歌声やリコーダーの演奏が聞こえてきます。6年生を送る会や卒業式で演奏するものだと思いますが、どのクラス・学年も気持ちを込めて一生懸命に取り組んでいる様子が伝わってきます。卒業、進級まであと少しになりました。全ての子ども一人一人が、このクラスで学べてよかった、この仲間と過ごせてよかったという思いをもって今の学級を解散し、明るい希望をもって新しい年度を迎えられることを願っています。

さて、4年生、5年生、6年生を対象とした平成27年度の埼玉県学力・学習状況調査の中に、「朝食を毎日食べていますか。」という質問項目があります。この中で「必ず食べる」と回答した本校の児童の割合は、4年生が89.2%（埼玉県平均が91.8%）、5年生が90.4%（埼玉県平均が91.7%）、6年生が88.6%（埼玉県平均が90.5%）となっています。このことから、朝食を毎日食べていない本校の児童の割合が、県全体よりも高いことが分かります。約10人に一人が朝食を食べないで登校する日があることとなります。

朝から元気が出ない、授業に集中できない、精神的に落ち着かず友だちとトラブルを起こす、不注意により怪我をするなどの問題行動の原因が食生活の乱れにあることが多くあります。子どもたちの元気の源は、充実した食生活や睡眠時間の確保といった生活習慣にあり、その最も大きな責任は家庭にあります。しかしながら、家庭の教育力が低下してきていると言われる中で、朝食の欠食（食事内容の不十分を含む）の状況、肥満または痩身傾向の児童の割合の増加、食習慣と学力・体力等との関係などが問題となっています。また、増加しつつある生活習慣病と食生活の関係も指摘されています。

このように、成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼすもので、極めて重要です。子どもの頃に身についた食習慣を大人になって改めることは、非常に困難なことであると言われています。各ご家庭におかれましては、子ども達への食育の大切さをご理解いただき、食生活の充実をお願いいたします。

保護者、地域の皆様には、平成27年度も格別のご理解とご支援をいただきありがとうございました。



3月の生活目標

すみずみまできれいにしよう

携帯電話教室 授業参観のあった2月15日（月）5年生と保護者を対象に、吉川警察署の方から携帯電話の使い方についてお話がありました。利便性が高い反面、安全面でも十分注意を要する携帯電話。親子でよく話合うことが大切です。



長縄大会 2月24日（水）各学級3チームの合計数で競う長縄大会がありました。休み時間や体育の時間を使い、チームワークがぐっと増しました。



授業参観懇談会 2月15日～17日、今年度最後の授業参観懇談会がありました。各学年で発表を授けられた。発表形式を展示した。懇談会は、1年と休むご役か告り。の、春過、ん報あ。の、方、の、が、し。等、ま。



特別活動授業研究会

2月9日（火）



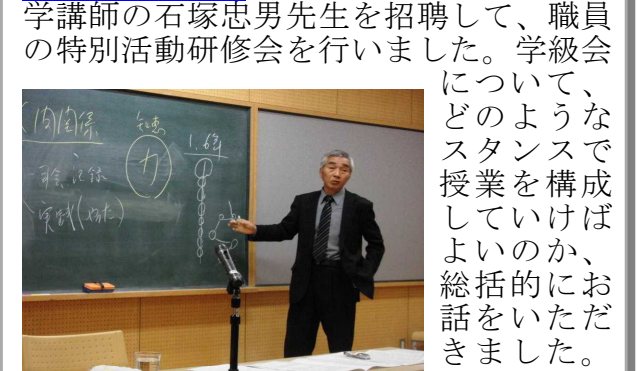
学級会の授業を4時間目に全学級公開、5時間目に1-2、4-4、



5-5で研究授業を行いました。提案理由に沿って自分の意見をしっかりと発表する力が身に付いてきました。

特別活動研修会

2月18日、高崎経済大学講師の石塚忠男先生を招聘して、職員



の特別活動研修会を行いました。学級会について、どのようなスタンスで授業を構成していけばよいのか、総括的に話をいただきました。

ありがとう集会

2月24日、交通指導員、



登校110番、図書ボランティア、読み聞かせボランティア、ランチスタッフ等の方々を招待して、ありがとう集会を行いました。当日は、37名の方が出席されました。感謝の気持ちが伝わりました。